

ひろしま型スマート農業推進事業の取組状況について

〔 令和3年6月24日
農業経営発展課 〕

1 要旨

ひろしま型スマート農業推進事業では、生産性の高い農業の実現を図るため、スマート農業技術の実証に取り組み、本県の中山間地域に適応したスマート農業技術による経営モデルを構築し、普及させることとしており、このたび、実証に取り組む企業グループとプロジェクトの内容を決定した。

2 応募状況及び審査方法

3テーマについて、4月28日から6月1日まで応募を受け付け、15の企業グループから提案があった。

(テーマ1：6提案，テーマ2：4提案，テーマ3：5提案)

審査は、農業者及び専門家の意見を聞いた上で選定委員会により、目指す姿、革新性、確実性及び普及性の4項目について、6段階の評価を行い、その合計点で順位を決定した。

3 実証概要（審査結果）

| テーマ | 企業グループ (※は県内企業) | 実証プロジェクトの概要 | | |
|--|---|---|---|--------------|
| | | 特徴 | 主な実証技術 | 実証地区 |
| 1 ほうれんそう及び こまつなの栽培 から販売までの 効率的な一貫体 系の構築 | ・三栄産業(株)※ ・(株)ニッポー ・山梨大学 ・(株)Cubo Rex | 中山間地域の 狭小ハウスに合 わせた低コスト な栽培管理シス テムの構築 | ・自動搬送・自動追尾ロボットによる搬送 の省力化 ・収穫予測システムによる有利販売 ・経営管理システムによる作業工程の可 視化 ・データ駆動型ハウス管理による収量向上 | 山県郡 安芸太田町 |
| 2 カット用青ねぎ の露地栽培にお ける効率的な一 貫体系の構築 | ・日本ユニシス(株) ・(株)NTT アグリテ クノロジー ・三栄産業(株)※ ・(株)ニシザワ ・(株)メディカル青 果物研究所 | 分散した農地に 対応した作業の 省力化、生産と 流通の情報を連 携させるシステ ムの構築 | ・自動収穫機による収穫作業の省力化 ・自動かん水システムによる省力化及び収 量向上 ・収穫予測システムによる労働力の適正配 分と効率的な販売計画の作成 ・需要予測データの生産計画への反映 | 東広島市 志和町 |
| 3 ぶどうの大規模 栽培の実現に向 けた効率的な作 業体系の構築 | ・(株)エネルギー・コ ミュニケーション ズ※ ・山梨大学 ・ドリームファーム (株) ・arrow(株) ・ひろぎんエリア デザイン(株)※ | 新規雇用者でも 正確な作業が可 能な栽培管理シ ステムの構築 | ・AI解析に基づくスマートグラスによる摘 粒作業の効率化 ・AIによる出荷時の等級判定の標準化 ・自動施肥かん水システムによる省力化 及び収量向上 ・ドローンやセンサー活用によるリアルタイムセンシング | 世羅郡 世羅町 |

4 今後の対応

現在、実証フィールドを有する農業者と調整を行っており、今月末から順次実証を開始する。
今後3年間で、改良等を繰り返し行いながら、経営モデルを構築する。

5 その他

県民に親しみをもってもらうために、愛称を「ひろしま seed box」に決定した。

※育苗箱 (seed box) の中で種が発芽し大きく育っていくように、スマート農業の種 (アイデア等) が広島県の農業を大きく変える技術に育っていくようなイメージ。